

布目ダム アオコの発生確認と対応状況

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所が管理する布目ダム貯水池において、職員による巡視の結果、藍藻類^{らんそうるい} ミクロキスティス等によるアオコの小規模な発生を確認しました。

現在の状況及び取り組み等についてお知らせします。

1. 概要

■アオコの発生の確認

8月27日（月）に確認

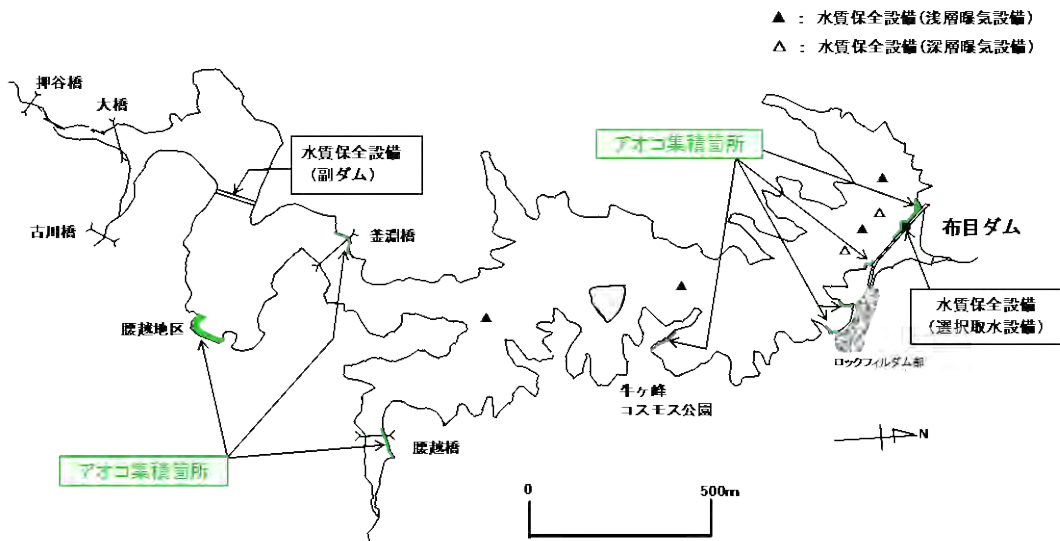
■アオコを構成する藍藻類

ミクロキスティス等

■発生場所・規模

ダム堤体付近(100m×15m 程度等)、牛ヶ峰コスモス公園付近(100m×5m)、釜淵橋(50m×10m)、腰越橋(50m×10m)、腰越地区(200m×20m)の5箇所です(発生位置は下図を参照)。

アオコ発生位置図(平成30年8月27日)



2. 水資源機構の対応

■巡視の強化

ダム貯水池のアオコ発生状況の監視を強化しています。

■水質等調査の追加(臨時)実施

水質等調査を追加(臨時)で実施しています。

調査結果等については、ホームページ上で速やかに公表します。

<http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/>

【参考】 ミクロキスティスとは

ミクロキスティスは、植物プランクトンの藍藻類に分類されます。細胞は非常に小さな球形で寒天質の膜の中に集まり群体を形成します。

群体の大きさは、顕微鏡観察により確認できる大きさから群体と群体が結合することで肉眼でも見られる大きさになるものまであります。群体の形は、球形や楕円体状等になります。

細胞内にガス胞がある種は、顕微鏡観察では黒色に見えます。

